

令和5年7月6日

〇おだ幸子委員

環境農政常任委員会に付託されました諸議案及び一般事項に対しまして、公明党県議団として意見、要望をさせていただきます。

まず初めに、6月補正予算の豚熱対策事業費につきまして、昨年度、本県での発生はありませんでしたが、1都3県で90例の発生があったこと、他県において5万4,000頭の殺処分があったことを考えますと、豚熱対策は畜産農家、そして地域の食を守るという観点からも非常に重要です。また、ワクチンを打っても発生している状況を考えますと、ワクチンも万能ではなく、重ねて衛生管理をしっかりと行っていくことが重要であることが分かります。

県においては、前回の発生における様々な経験や課題を踏まえて、発生時も想定した具体的な取組を行っていることを理解しました。今後も豚熱発生防止のため、畜産農家全体の衛生管理体制のさらなる向上のために具体的な支援を実施していただくよう要望いたします。

続いて、2点目ですが、中小企業における脱炭素化の促進につきまして、2030年度の温室効果ガス排出量50%削減のためには、県内事業者が99.7%を占める中小企業の脱炭素の取組の推進が重要と考えます。ただ、意識調査の結果から見ても、まだまだ働きかけが必要な状態でございます。県においては、中小企業の特性を踏まえた上で、市町村及び関係各機関と連携して、事業者からの相談を待つだけでなく、行政からアプローチするアウトリーチ支援など、実効性のある取組を行っていただくことを要望します。

以上、当常任委員会に付託された諸議案に賛成を表明して、意見発表とします。